

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
新宮市	三津ノ地区(赤木、椋井、日足一～三、能城一、二)	令和3年11月19日	平成27年9月7日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	45 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	28.6 h a
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	12.7 h a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	11.2 h a
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	11.2 h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4 h a
(備考)	

2 対象地区の課題

アンケート回収者の約4割が75歳以上で5年後には約7割が75歳以上となる。今後も高齢化が進んでいくなかで、当地域では後継者がいる農業者が少なく、新たな担い手確保が必要である。耕作条件の悪い農地は、将来的に荒廃農地になる可能性が高いので対策が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地中間管理事業を活用し担い手等へ農地の集積・集約化を推進していく。
農地の利用意向調査を農業委員、農地利用最適化推進委員と連携し行い、農地の利用調整を図る。
地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や中心経営体の経営力向上を目指す。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	水稲	5.2 ha	水稲	6 ha	日足
認農	B	水稲	5 ha	水稲	6 ha	能城山本
集	MYNS営農組合	水稲、野菜	7.2 ha	水稲、野菜	8 ha	日足
認農	C	水稲、野菜	6.3 ha	水稲、野菜	7 ha	日足
認就	D	梅	2 ha	梅	4 ha	棕井、赤木
計	5人		25.7 ha		31 ha	